



## 2025年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年1月14日

上場会社名 株式会社放電精密加工研究所  
コード番号 6469 URL <https://www.hsk.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村田 力

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 情報開示・人事 総務担当 (氏名) 瀧川 浩二

TEL 045-277-0330

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年2月期第3四半期の連結業績(2024年3月1日～2024年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第3四半期	9,226	4.7	314	239.9	281	215.8	190	117.1
2024年2月期第3四半期	8,811	0.3	92		89		87	

(注) 包括利益 2025年2月期第3四半期 427百万円 (79.5%) 2024年2月期第3四半期 238百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期第3四半期	17.85	
2024年2月期第3四半期	12.33	

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年2月期第3四半期	17,697	7,588	38.1	630.96
2024年2月期	17,974	7,229	35.8	603.32

(参考) 自己資本 2025年2月期第3四半期 6,736百万円 2024年2月期 6,438百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期		0.00		7.00	7.00
2025年2月期		0.00			
2025年2月期(予想)				7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年2月期の連結業績予想(2024年3月1日～2025年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,956	6.5	391	70.3	347	104.4	227	2.0	21.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年2月期3Q	10,953,900 株	2024年2月期	10,953,900 株
期末自己株式数	2025年2月期3Q	277,255 株	2024年2月期	282,643 株
期中平均株式数 (四半期累計)	2025年2月期3Q	10,674,215 株	2024年2月期3Q	7,117,849 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 有(任意)

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
3. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10
独立監査人の四半期連結財務諸表に対する期中レビュー報告書	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2024年3月1日～2024年11月30日)におけるわが国経済は、世界経済の停滞の影響を受けつつも、円安や価格改定による企業収益の改善、設備投資の増加に支えられ、雇用・所得環境の改善が見られました。このような背景のもと、物価上昇の影響を受けながら個人消費は堅調に推移し、景気は緩やかな回復傾向を維持しています。

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く業界動向は、建設資材の高騰や人手不足に伴い住宅需要が鈍化したことや中国自動車市場において非EV車の需要が鈍化した影響を受け、住宅分野や交通・輸送分野は低調に推移しました。また、コロナ禍で低迷していた航空旅客需要が回復を果たしましたが、業界の人手不足などサプライチェーンの立て直しの影響を受け、航空・宇宙分野は調整局面が継続しました。一方、世界の電力需要の増加などにより環境・エネルギー分野は堅調に推移しました。

このような環境の中、当社グループにおきましては、エネルギーなどの副資材費高騰、労務費増などの価格転嫁や生産性向上、コスト削減などの対策を推進し、事業活動を継続してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高につきましては、金型セグメントの住宅及び交通・輸送関連の生産量が減少しましたが、放電加工・表面処理セグメントの環境・エネルギー関連が堅調に推移したことにより9,226百万円(前年同期比4.7%増)となりました。利益につきましては、増収効果や価格改定に加え、動力費などのコスト削減効果により、営業利益は314百万円(同239.9%増)、経常利益は281百万円(同215.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は190百万円(同117.1%増)となりました。

セグメントの概況は、次のとおりであります。

なお、各セグメントの営業利益は、各セグメントに配賦することが困難な本社管理部門に係る営業費用等を控除する前のものであります。

#### ①放電加工・表面処理

放電加工・表面処理は、航空・宇宙関連の航空機エンジン部品はサプライチェーンの遅延により生産量が前期並みに留まりました。一方、防衛予算の増加や市場成長の影響を受け防衛装備品を含む航空宇宙関連部品の受注は増加しました。また、環境・エネルギー関連のガスタービン部品が電力需要を背景に国内向け及び海外向け案件が堅調に推移、さらに遠心圧縮機部品が石油・ガス産業の精製・輸送需要の増加を背景に受注が増加したことで、前年同期比で増収となりました。利益面では、価格改定や固定費の抑制などにより、増益となりました。

その結果、売上高は6,146百万円(同16.2%増)、営業利益は932百万円(同103.4%増)となりました。

#### ②金型

金型は、住宅関連では、住宅用国内向けのアルミ押出用金型は価格改定により前期並みで推移しましたが、非住宅用および海外子会社の住宅用アルミ押出用金型の需要が減少したことで、前年同期に比べ減収となりました。また、交通・輸送関連では、セラミックスハニカム押出用金型が中国市場の需要鈍化や製品構成の変化により、前年同期に比べ減収となりました。利益面では、減収により減益となりました。

その結果、売上高は2,470百万円(同10.4%減)、営業利益は235百万円(同38.7%減)となりました。

#### ③機械装置等

機械装置等は、機械設備関連では大型プレス機の販売が減少しました。また、交通輸送関連では、自動車関連プレス部品が価格改定を実施したものの受注の減少で前年同期に比べ減収となりました。利益面では価格改定および固定費の抑制に努め損失を縮小しました。

その結果、売上高は609百万円(同20.6%減)、営業損失は26百万円(前年同期は28百万円の営業損失)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ791百万円減少し、8,238百万円となりました。その主な要因は、借入金の返済による現金及び預金の減少976百万円、売掛金の減少248百万円、電子記録債権の増加180百万円、仕掛品の増加268百万円によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ514百万円増加し、9,458百万円となりました。その主な要因は、建物および構築物の減少78百万円、機械装置及び運搬具の増加23百万円、リース資産の増加335百万円、建設仮勘定の増加178百万円によるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて277百万円減少し、17,697百万円となりました。

### (負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べ635百万円減少し、6,095百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の減少335百万円、電子記録債務の増加577百万円、短期借入金の減少1,232百万円によるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ1百万円減少し、4,013百万円となりました。その主な要因は、長期借入金の減少308百万円、リース債務の増加259百万円、退職給付に係る負債の増加26百万円によるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて636百万円減少し、10,108百万円となりました。

### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ359百万円増加し、7,588百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加115百万円、その他有価証券評価差額金の増加97百万円、為替換算調整勘定の増加54百万円、非支配株主持分の増加60百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末比2.2ポイント増加し、38.1%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月期の連結業績予想につきましては、2024年10月3日に公表しました予想に変更ありません。なお、上記予想は発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,131,273	3,155,100
受取手形	47,590	37,819
売掛金	2,615,154	2,367,077
電子記録債権	358,083	539,005
商品及び製品	13,318	17,426
仕掛品	966,951	1,235,302
原材料及び貯蔵品	693,293	697,690
未収入金	135,695	122,305
その他	69,260	66,902
貸倒引当金	△29	△28
流動資産合計	9,030,591	8,238,602
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,841,767	1,763,603
機械装置及び運搬具（純額）	1,364,002	1,387,895
土地	4,488,652	4,489,553
リース資産（純額）	536,756	872,534
建設仮勘定	11,850	190,630
その他（純額）	131,188	116,263
有形固定資産合計	8,374,218	8,820,480
無形固定資産		
ソフトウェア	102,048	89,552
その他	7,819	5,387
無形固定資産合計	109,867	94,940
投資その他の資産		
投資有価証券	229,571	372,896
繰延税金資産	147,213	103,967
その他	83,281	66,154
投資その他の資産合計	460,066	543,018
固定資産合計	8,944,151	9,458,439
資産合計	17,974,743	17,697,041

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	729,606	394,038
電子記録債務	824,869	1,402,464
短期借入金	3,994,770	2,762,173
リース債務	152,657	216,163
未払法人税等	87,699	89,433
契約負債	6,017	1,199
賞与引当金	270,016	166,326
その他	665,137	1,063,699
流動負債合計	6,730,773	6,095,499
固定負債		
長期借入金	1,853,299	1,545,141
リース債務	452,212	711,973
繰延税金負債	16,866	16,866
退職給付に係る負債	1,595,770	1,622,580
資産除去債務	54,730	55,044
その他	41,958	61,684
固定負債合計	4,014,838	4,013,291
負債合計	10,745,611	10,108,791
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,889,190	1,889,190
資本剰余金	1,774,170	1,776,738
利益剰余金	2,881,428	2,997,261
自己株式	△189,030	△185,427
株主資本合計	6,355,757	6,477,762
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	100,092	198,050
為替換算調整勘定	97,064	151,559
退職給付に係る調整累計額	△114,758	△90,785
その他の包括利益累計額合計	82,398	258,824
非支配株主持分	790,975	851,663
純資産合計	7,229,132	7,588,250
負債純資産合計	17,974,743	17,697,041

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
売上高	8,811,691	9,226,601
売上原価	7,029,405	7,127,886
売上総利益	1,782,286	2,098,715
販売費及び一般管理費		
運搬費	50,034	52,140
給料	685,050	714,638
賞与引当金繰入額	40,145	44,768
退職給付費用	48,420	49,988
旅費及び交通費	67,233	63,975
減価償却費	71,571	65,617
研究開発費	16,398	29,713
その他	710,971	763,596
販売費及び一般管理費合計	1,689,827	1,784,438
営業利益	92,458	314,276
営業外収益		
受取利息	3,239	4,797
受取配当金	3,866	2,357
為替差益	3,128	-
受取賃貸料	2,338	2,420
受取割引料	1,574	369
受取損害賠償金	7,711	-
その他	5,170	4,157
営業外収益合計	27,029	14,102
営業外費用		
支払利息	28,154	38,163
為替差損	-	5,870
賃貸費用	236	236
その他	1,910	2,449
営業外費用合計	30,301	46,720
経常利益	89,186	281,659
特別利益		
固定資産売却益	6,064	13,019
投資有価証券売却益	13,045	-
補助金収入	20,000	20,000
特別利益合計	39,110	33,019
特別損失		
固定資産売却損	51	1,204
減損損失	-	3,932
固定資産除却損	1,019	1,029
特別退職金	-	10,060
特別損失合計	1,071	16,227
税金等調整前四半期純利益	127,225	298,450
法人税等	40,052	99,587
四半期純利益	87,172	198,862
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△596	8,330
親会社株主に帰属する四半期純利益	87,768	190,532

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
四半期純利益	87,172	198,862
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28,688	97,957
繰延ヘッジ損益	302	-
為替換算調整勘定	110,444	106,852
退職給付に係る調整額	11,625	23,972
その他の包括利益合計	151,060	228,783
四半期包括利益	238,233	427,646
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	184,711	366,957
非支配株主に係る四半期包括利益	53,521	60,688

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自2023年3月1日至2023年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	放電加工・ 表面処理	金型	機械装置等	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,287,617	2,757,309	766,764	8,811,691	—	8,811,691
セグメント間の内部 売上高又は振替高	24,581	1,165	6,933	32,679	△32,679	—
計	5,312,199	2,758,474	773,697	8,844,370	△32,679	8,811,691
セグメント利益又は セグメント損失(△)	458,659	384,201	△28,544	814,316	△721,858	92,458

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△721,858千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△722,238千円及びセグメント間取引消去380千円であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2024年3月1日至2024年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	放電加工・ 表面処理	金型	機械装置等	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,146,625	2,470,969	609,007	9,226,601	—	9,226,601
セグメント間の内部 売上高又は振替高	233	40,022	25,152	65,407	△65,407	—
計	6,146,858	2,510,991	634,159	9,292,009	△65,407	9,226,601
セグメント利益又は セグメント損失(△)	932,817	235,425	△26,832	1,141,410	△827,133	314,276

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△827,133千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△827,090千円及びセグメント間取引消去△43千円であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
減価償却費	487,647千円	528,955千円

## 3. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## ①生産実績

前第3四半期連結累計期間(2023年3月1日～2023年11月30日)

(単位:千円)

セグメントの名称	第3四半期連結累計期間 (2023年3月1日～2023年11月30日)	
		前年同期比(%)
放電加工・表面処理	5,032,607	101.6
金型	2,769,772	96.9
機械装置等	861,804	100.7
合計	8,664,184	100.0

(注) 1. 上記金額は、販売価格によって表示しております。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

当第3四半期連結累計期間(2024年3月1日～2024年11月30日)

(単位:千円)

セグメントの名称	第3四半期連結累計期間 (2024年3月1日～2024年11月30日)	
		前年同期比(%)
放電加工・表面処理	6,311,744	125.4
金型	2,421,962	87.4
機械装置等	667,981	77.5
合計	9,401,688	108.5

(注) 1. 上記金額は、販売価格によって表示しております。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

## ②受注状況

前第3四半期連結累計期間(2023年3月1日～2023年11月30日)

(単位:千円)

セグメントの名称	第3四半期連結累計期間 (2023年3月1日～2023年11月30日)	
		前年同期比(%)
放電加工・表面処理	5,876,286	110.9
金型	2,672,330	101.3
機械装置等	948,960	115.0
合計	9,497,576	108.4

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

当第3四半期連結累計期間(2024年3月1日～2024年11月30日)

(単位:千円)

セグメントの名称	第3四半期連結累計期間 (2024年3月1日～2024年11月30日)	
		前年同期比(%)
放電加工・表面処理	6,652,617	113.2
金型	2,388,516	89.4
機械装置等	746,299	78.6
合計	9,787,434	103.1

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

## ③販売実績

前第3四半期連結累計期間(2023年3月1日～2023年11月30日)

(単位:千円)

セグメントの名称	第3四半期連結累計期間 (2023年3月1日～2023年11月30日)	
		前年同期比(%)
放電加工・表面処理	5,287,617	108.4
金型	2,757,309	93.5
機械装置等	766,764	80.0
合計	8,811,691	100.3

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

当第3四半期連結累計期間(2024年3月1日～2024年11月30日)

(単位:千円)

セグメントの名称	第3四半期連結累計期間 (2024年3月1日～2024年11月30日)	
		前年同期比(%)
放電加工・表面処理	6,146,625	116.2
金型	2,470,969	89.6
機械装置等	609,007	79.4
合計	9,226,601	104.7

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

独立監査人の四半期連結財務諸表に対する期中レビュー報告書

2025年1月10日

株式会社放電精密加工研究所

取締役会 御中

保森監査法人

東京都千代田区

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 山 崎 貴 史

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 小 林 謙

監査人の結論

当監査法人は、四半期決算短信の「添付資料」に掲げられている株式会社放電精密加工研究所の2024年3月1日から2025年2月28日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2024年9月1日から2024年11月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2024年3月1日から2024年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について期中レビューを行った。

当監査法人が実施した期中レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる期中レビューの基準に準拠して期中レビューを行った。期中レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の期中レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

四半期連結財務諸表に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して四半期連結財務諸表を作成することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

#### 四半期連結財務諸表の期中レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した期中レビューに基づいて、期中レビュー報告書において独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる期中レビューの基準に従って、期中レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の期中レビュー手続を実施する。期中レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
- ・ 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されてないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、期中レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、期中レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・ 四半期連結財務諸表に対する結論を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、四半期連結財務諸表の期中レビューに関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した期中レビューの範囲とその実施時期、期中レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査等委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

#### 利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1. 上記の期中レビュー報告書の原本は当社(半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. XBRLデータは期中レビューの対象には含まれていません。